

胸水貯留を有する進展型小細胞肺癌に対し初回治療としてシスプラチン+イリノテカン併用療法が実施された症例における有効性・安全性の後方視的検討

#### 【研究対象】

2003年5月から2014年9月の間に、進展型小細胞肺癌に対する初回化学療法としてシスプラチン+イリノテカン併用療法を施行した患者さんを対象としています。

#### 【概要】

国立がん研究センター東病院の診療録を用いて、年齢、性別、シスプラチン+イリノテカン併用療法の投与量、副作用、効果等について調査します。

#### 【目的】

国内において肺がんは死亡数をもっとも多いがんで、小細胞肺癌はその15%程度を占めると言われています。小細胞肺癌は、進行がはやいことが多く、発見された時点ですでに進行していることが多々あります。また、進行すると胸水が溜まってくる場合があります。

抗がん剤のイリノテカンは胸水などの体液が多く溜まっている患者さんでは、副作用が強くてでしまうおそれがあるため使用できないこととなっています。けれども、多量でない胸水が溜まっている患者さんに使用した場合の安全性についてはまだ検討されないままになっています。また、小細胞肺癌は抗がん剤の効果が高い場合が多く、胸水の減少に効果的な治療法となる可能性があります。

#### 【方法】

国立がん研究センター東病院の診療録を用いて、年齢、性別、シスプラチン+イリノテカン併用療法の投与量、副作用、効果等について後方視的に調査します。

#### 【個人情報保護に関する配慮】

診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されない方法で情報を収集します。対象となる患者さんの識別はカルテ番号等を使って管理し、個人情報が出院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その患者さんのデータは研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。また、この研究についてわからないことや心配なことがあれば、何でも聞いてください。ただし、他の研究対象者等の個人情報や研究者の知的財産権の保護の観点から回答できない場合があります。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

〒277-8577 柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 薬剤部

佐野 慶行

TEL: 04-7133-1111 (PHS : 91700)

FAX: 04-7135-5452

E-mail: [yosano@east.ncc.go.jp](mailto:yosano@east.ncc.go.jp)